

資料2 海抜表示看板をリニューアルしました！

本市沿岸部の電柱に設置している海拔表示看板をリニューアルしました。

従来の海拔表示に加え、津波の想定浸水深を追記し、さらにスマホで津波ハザードマップが確認できるよう二次元コードを表示しました。

1 設置完了日 10月31日（金）

2 設置場所 沿岸部の電柱（201箇所）

3 経緯

令和6年能登半島地震では、津波警報発表に伴い、津波浸水想定区域外の方が北から南へ車で一斉に避難したことで渋滞が発生しました。

また、能登半島地震に係る市民アンケート調査から、津波浸水想定区域で本来は避難すべきであったにもかかわらず、避難しなかった方が一定数いたことが明らかとなりました。

このことから、日頃から自分の住んでいる地域の海拔及び津波の想定浸水深を正しく理解することで、災害への関心や防災意識を高めるとともに、非常時には、住民が迅速かつ的確に避難行動をとれるよう危険度を視覚的にわかりやすく見直したものです。

3 変更点

津波の想定浸水深に応じた色分け、二次元コードを追加



変更前



浸水深 1 m～3 m	浸水深 0.5m～1 m	浸水深 0.5m未満	浸水深なし 避難が必要な地区	浸水深なし
14 箇所	32 箇所	41 箇所	43 箇所	71 箇所